

マザーレイクゴールズ (MLGs) の推進について

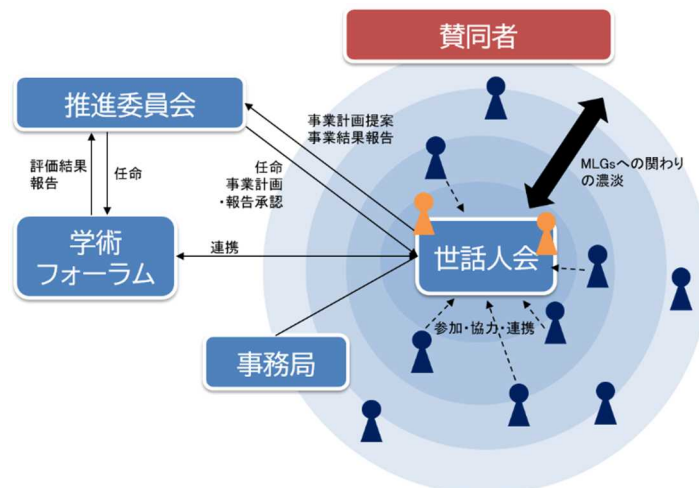
1 マザーレイクゴールズ (MLGs) の策定について

- 令和3年7月1日「びわ湖の日」40周年の日に、マザーレイクゴールズ (MLGs) への賛同者を集めて「マザーレイクゴールズ賛同者会議」を開催した。(6月末時点の賛同者：670者※個人、団体含む)
- 賛同者会議の場で、マザーレイクゴールズ (MLGs) アジェンダおよび推進体制のメンバー、今年度の事業計画が承認され、マザーレイクゴールズ (MLGs) の取組が正式に開始した。



2 マザーレイクゴールズ (MLGs) の推進体制

- マザーレイクゴールズ (MLGs) アジェンダに基づき、MLGs の推進に向けた組織である「マザーレイクゴールズ推進委員会」を設置し、その運営については、当分の間、県が担うこととした。
- マザーレイクゴールズ推進委員会は、活動間の対話と情報共有を豊かにする役割を担う「世話人」および学術的知見に基づき琵琶湖とそれを取り巻く暮らしに係る指標をチェックする「学術委員」を任命し、それぞれから成る「世話人会」、「学術フォーラム」を設置することとした。
- なお、マザーレイクゴールズ推進委員会は、審議・重要事項にかかる意思決定機関であり、世話人会は、ワークショップ等の事業の企画・実施をするための執行機関と位置づけている。



【マザーレイクゴールズ推進委員会】

石河 康久 滋賀県琵琶湖環境部長（推進委員会委員長）
中野 伸一 京都大学生態学研究センター長
井手 慎司 滋賀県立大学環境科学部教授
上田 洋平 滋賀県立大学地域共生センター講師
西村 亜智 株式会社日吉 総務部総務課
辻 博子 しがローカル SDGs 研究会事務局長
川本 勇 株式会社ユーストン代表取締役

【マザーレイクゴールズ世話人会】

村上 悟 特定非営利活動法人碧いびわ湖代表理事
上田 隼也 一般社団法人インパクトラボ代表理事
吉武 莞 一般社団法人インパクトラボ理事
溝江 愛未 エイムアイ・クリエイティブオフィス
佐藤 祐一 琵琶湖環境科学研究センター専門研究員
三和 伸彦 滋賀県琵琶湖環境部技監（事務局長）

3 今後の展開について

- 琵琶湖の魅力・課題について話し合い、参加者が MLGs へのコミット（びわ湖との約束）を表明する「ワークショップ」を積極的かつ柔軟に開催する。
- 学生ライターを起用して MLGs の達成に資する多様な主体の活動に関する記事等をまとめた「ニュースサイト」を運営する。
- 全国的な展開をされている企業からも商品のキャンペーン等においてロゴマークを使用していただくなど、県外への新たな広がりにつなげる。
- さらに世界湖沼会議などを通じて世界に向けて、琵琶湖の重要性を理解いただく取組を進める。

【8, 9月に開催予定の事業例】

- MLGs リーダープログラム
「自分が滋賀県知事ならどのような MLGs に対するアクションや政策をするか？」というテーマで大学生が議論する。
- エシカルアクション（社会・環境に配慮した行動）ワークショップ
小売店を会場に MLGs を意識した買い物をおこない、考えた内容をプレゼンテーションする。
- グローバル交流会
滋賀県が連携している中国湖南省やミシガン州などとオンラインで繋ぎ、英語で「Lake Biwa」について意見交換をする。